

令和8年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第2回研修を開催しました

岩手県農業公社就農支援部では、令和8年4月24日（金）・25日（土）の2日間、雫石町南畑において、チャレンジファームの第2回研修を開催しました。両日ともに快晴に恵まれ、絶好の研修日和となりました。

前半の講義では、研修指導員が研修の進め方のほか、農業現場で不可欠な「用語・単位」、そして「じゃがいもの栽培」について解説を行いました。質疑応答では、事務局の想定を上回るほど多くの質問が受講生から寄せられ、自らの技術にしようとする熱意と関心の高さが伺えました。

休憩を挟んだ後半の実習では、指導員から施設説明のあとに実習ほ場の石拾いを行い、基本となる「鍬（くわ）の使い方」を学びました。

その後の「じゃがいもの植え付け」では、実際に鍬を使ってじゃがいもの植え溝掘りを行

いました。初めて鍬を手にする受講生は、植え溝を掘った土を地表に上げる動きに苦戦していましたが、指導員のアドバイスに耳を傾けて、体得しようと真剣に取り組んでいました。

また、植え付けでは、講義で解説のあった「植え付ける向き」を一つひとつ確認しながら、丁寧に作業を進めていました。

受講後のアンケートでは、「農業の用語や単位を聞くのが初めてだったので勉強になった」「基本的なことを細かく説明していただきよく理解できた」といった声が寄せられ、充実した研修となったようです。

次の第3回研修は、5月8日（木）・9日（金）に開催します。「土づくり」などの講義に加え、実習ではいよいよ「トマトの定植」など本格的な作業が始まる予定です。



指導員の説明を聞き逃さずにメモを取る受講生



快晴の下、全員で行ったほ場の石拾い



慣れない鍬での作業に丁寧に取り組む受講生



植え溝にじゃがいもを植え付ける受講生